

Greenwich English College に1年3ヶ月通われ、 TAFE で通訳/翻訳を学ばれている Minako さんの体験談

Greenwich English College で修了されたコース:

一般英語、TECSOL、発音矯正、ケンブリッジ検定 PET、FCE、CAE、ビジネス英語、IELTS 準備コース

海外留学は以前からの私の目標であり、将来的に海外で仕事をしたいと思ったので、オーストラリアへの留学を決意しました。当初、メルボルンの語学学校に通うことを検討していたのですが、インターネットで評判のよかった ICN に問い合わせたところ、シドニーには優れた語学学校がたくさんあることを教えていただき、特に Greenwich College を勧めていただいたので、Greenwich College への入学を決断しました。

Greenwich College には約1年3ヶ月通い、一般英語、TECSOL、発音矯正、ケンブリッジ検定 PET、FCE、CAE、ビジネス英語、IELTS を受講しました。Greenwich College で受講できるコースのほぼ全てです！

最初に2週間、一般英語で基礎を学び、様々な国から来たクラスメイトとの会話やエクスカージョン（遠足）を楽しみました。

その後、TECSOL で子どもたちに英語を教える方法を学び、4週間のコースを経て1週間、保育園で保育補助のボランティアを経験しました。残念ながら Greenwich College の TECSOL は今はもう開講されていないのですが、絵を描いたりゲームをしたり、先生ではなく子どものようにクラスメイトたちとはしゃいだ毎日は学生生活で一番楽しかった思い出になりました。

発音矯正のコースでは英語の基本的な発音やアクセント、イントネーションを練習し、週に一度のプレゼンテーションでは発音を意識しながら好きなテーマについて調べたことを発表しました。このコースで学んだことは、後にケンブリッジ検定や IELTS のスピーキングテストの練習で生かされたと思います。

Greenwich College にはケンブリッジ検定コースが3種類あり、PET、FCE、CAE が受講できます。当初、そのうちの1つだけを受講する予定だったのですが、マーケティング担当の Mioさんからまずは PET で基礎をしっかり学び、その後、FCE にステップアップした方がよいとのアドバイスをいただいたので、そのようにしました。私は一般英語でインターミディエイトレベルだったのですが、正直なところ最初、PET は少し簡単だと感じました。PET で教わる文法は非常に基礎的なもので、日本の中学校や高校で教わったものとほぼ同じだったので復習をしているだけのように感じたからです。しかし授業を進めていくと、例えば、未来形の will と be going to の使い分けや解釈が日本の学校で教わったものとネイティブが実際に使うものとは異なっていることがわかりました。その他にも、現在形と現在進行形の使い分けや正しい

使い方、過去完了形の使い方など、今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができ、英語の基礎をしっかりと身につけることができました。FCE や CAE でも文法を勉強しますが、さらっとおさらいする程度で、先生たちも生徒が基本を知っているのを前提で授業をします。英語の勉強からしばらく離れていた方や文法にあまり自信がない方には PET をぜひお勧めします。

また、私が PET を受講した時、Ian 先生が担任だったのですが、Ian 先生は本当に面白くて情熱的で、時に厳しく時に優しく、様々なことを教えてくれました。特に印象に残っているのは、Writing の添削です。Writing の練習として文章を書きメールで送るのですが、次の日の朝までに先生がプリントアウトして添削し、生徒に返してくれます。私はほぼ毎日、どうでもいい内容の文章を送ったのですが、Ian 先生が1つ1つ丁寧に添削して間違っている部分をしっかりと教えてくれたので、Writing のスキルを伸ばすことができました。PET で学んだ全てのことがその後の FCE や CAE でも生かされるので、そういう意味でも PET はお勧めのコースです。

3ヶ月間 PET で学んだ後、その1つ上のレベルである FCE を受講しました。「1つ上」と言っても PET と FCE のレベルの差はかなり大きく、FCE で学ぶ単語や慣用句の量やレベルは PET の2~3倍以上です。生徒のレベルも高くなり、大学進学を目指す人、IELTS でのスコアを伸ばすために受講する人、就職で有利になるように FCE 取得を目指す人など、勉強する意欲に満ちた生徒が多かったので、自分もしっかり勉強しなくてはという気持ちになりました。

実際の授業では、練習問題を解きながら単語や慣用句などを勉強しました。私のクラスは Nadia 先生が担任だったのですが、先生は特にネイティブがよく使う慣用句を教えてくれました。時々、その慣用句が Listening テストで出てくることがあるので、知っていると問題を解くのに有利になりますし、Speaking テストで使えば高得点も狙えるので非常に役立ちました。Nadia 先生も Writing の添削で丁寧にアドバイスしてくれたので、Writing のスキルを更にレベルアップすることができましたし、授業が始まる前や昼休みに Speaking の練習につきあってくれたので、しっかりと Speaking テスト対策をすることができました。

FCE のテストは PET より発展的な内容で、例えば Reading のテストでは文章がより長く難しくなり、速読のスキルも必要になります。また、PET の Reading では答が文章の中に書いてあるのに対して、FCE では答そのものではなく類義語が書いてあるので、その類義語をいかに素早く拾い出すかが長文読解にとって重要になります。また、FCE 以降、語彙力を試す Use of English がテストに加わり、単語や慣用句、句動詞 (phrasal verb)、前置詞 (preposition) の知識が必要になります。FCE の授業はその点を意識した内容で、例えば前置詞を200個以上(!)も頭につめこまなければならないので毎日ハードな授業ではありましたが、英語のスキルを更に高いレベルに上げるのに役立ちました。

12月に FCE を終えた後、ビジネス英語を3ヶ月受講して3月末に学校を卒業し、日本に帰国する予定だったのですが、FCE に合格したことで更に上のレベルを目指したくなり、CAE 受講を検討しました。しかし Mio さんに相談すると、FCE と CAE のレベル差も非常に大きいので、すぐに CAE を受講することは難し

いと言われ、IELTS で英語のスキルアップをすることになりました。ビジネス英語で1ヶ月マーケティングを学んだ後、まずは IELTS1のクラスで IELTS の基礎を学びました。Greenwich College の IELTS コースは1と2に分かれており、IELTS1は5から6ポイントを狙う生徒が対象で、特にアカデミックのテスト対策に特化しています。もちろん、General 希望でも、私のように IELTS のスコアを必要としていない生徒でも問題なく受講できます。論文のようなフォーマルな文章の書き方を学ぶことができますし、ケンブリッジ検定とは異なる様式の Listening テストや Speaking テストでスキルアップを図ることができます。

IELTS2は更に難しい内容で、6.5ポイント以上を狙う生徒が対象です。Greenwich College の最難関コースの1つなので受講する生徒のレベルも非常に高く、大学進学はもちろん、就労ビザや永住権獲得に向けて受講する生徒が多かったので、授業についていくのが大変でした。IELTS2では Greenwich College 独自のテキストが使用され、週毎にトピックが決まっています。トピックはエンターテインメント、宇宙、言語、教育など多岐にわたり、フォーマルな単語やアカデミックな単語を勉強します。IELTS1同様に General 希望の生徒も Academic 希望の生徒も一緒に授業を受けるのですが、Writing の練習は別々に行われます。

IELTS2の授業で印象に残っているのは、Listening の練習です。ABC ラジオのニュースを聞いて穴埋め問題を解くのですが、ネイティブの話す英語が全く聞き取れず、簡単な単語しか拾うことができませんでした。また、先生が長めの文章を6回読み、生徒がそれを書き取って文章を完成させる dictation という練習があるのですが、イギリス人の Sanja 先生が読み上げる英語が速くて全く聞き取れない！6回聞いても文章の半分以下しか理解できず、クラスメイトたちの協力なしには文章を完成できませんでした。それでも、ネイティブのアクセントやイントネーションを学ぶことができたので、Listening のいい練習になったと思います。また、Sanja 先生はいつも元気いっぱい、明るく楽しく、非常に面倒見のいい先生です。授業は難しく大変でしたが、Sanja 先生の明るさに救われて無事に5週間を乗り切ることができました。IELTS2の最終日、Sanja 先生から「今のままがんばれば CAE でも大丈夫だよ。がんばって！」と言われたのが本当に嬉しかったし、その言葉が非常に励みになりました。

Sanja 先生から元気をわけてもらった後、私にとって Greenwich College で最後のコースとなるケンブリッジ CAE を受講しました。予想通り CAE は非常に難しく、FCE とはレベルが全く異なります。FCE の2~3倍レベルが高いため、PET と比較すると10倍くらい難しい...と言えるかもしれません。授業では文法の復習は全くなく、練習問題をひたすら解いていきます。特に Use of English に重点を置き、テストでよく出てくる単語を勉強することでスコアアップを狙います。ここで役立ったのが FCE で Nadia 先生に教えてもらったネイティブがよく使う慣用句。実は Nadia 先生、時々 FCE と偽って CEA の Use of English を生徒に解かせたり、CEA レベルの単語や慣用句を FCE で教えてくれたりしたので、その時の知識が CAE で非常に役立ちました。それでも、Reading で出てくる単語は今までに見たことがないものばかりで、論文のような極めてフォーマルな文章で使われる単語が次々と出てきます。しかし、授業ではそれらについて先生が1つ1つ丁寧に説明することはありません。知っていて当然！のようにスルーしていきますし、生徒もほとんど質問をしません。みんな、そのような難しい単語を知っていて、問題なく練習問題を解いているからです。また、CAE の Reading テストは日本の国語のテストのようなもので、文章の読解力が

必要とされます。いくら難しい単語を知っていても、文章の全体的な内容を理解できないと問題を解くことができません。そういう意味でも、単語を知っていることは CAE にとって基礎中の基礎。その更に上のレベルを求められるので、とにかく自分で勉強をしなければなりませんでした。

CAE の担任は Steve 先生で、コーラが大好きな明るく陽気な先生です。授業の内容は非常にレベルが高く、難しくついていくのが大変ですが、Steve 先生は質問をすれば気軽に答えてくれますし、Writing の添削も他の先生同様に丁寧に見てくれます。私は Speaking が苦手で先生もそれをわかっていたので、私だけマンツーマンで Speaking テストの練習をしてくださいました。Steve 先生は実際の CAE テストの試験官でもあり、CAE テストに関する知識も豊富なので、高得点が狙える答え方やネイティブに近い言い回しを教えてくださいました。

CAE を終え、Greenwich College での1年3ヶ月の学生生活を終えた時、私の英語のスキルはかなり改善したと思います。一般英語や PET では先生たちが生徒のレベルに合わせてゆっくりわかりやすく英語を話してくれますが、コースのレベルが上がるに従って容赦なく普通のスピードで話すようになります。それを聞き取れるようになっただけでも進歩を感じましたし、ケンブリッジ検定に合格したことでレベルアップを実感することができました。先に述べたようにどのコースも非常に密度が濃く、先生のレベルも非常に高かったので、満足することができました。他の語学学校に通ったことがないので比較することは難しいですが、私は Greenwich College を選んで良かったと思いますし、レベルも質も高い学校だと思います。

Greenwich College を紹介して下さった ICN の森さん、本当にありがとうございました！森さんのおかげで充実した1年3ヶ月を過ごすことができました。また、Greenwich College 卒業後の進路として TAFE を紹介して下さったことにも感謝しています。今は TAFE で通訳の勉強をしていますが、とてもおもしろい！通訳になることは全く考えていませんでしたが、今は今後の仕事の選択肢の1つとして考えています。もっともっと英語のスキルを高めて、世界で活躍できる人間になれるようがんばります！